

発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036
代表TEL：(0567) 26-3921
FAX：(0567) 26-3922
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

問合わせ・見学 大歓迎！！

《利用状況 案内板 (★募集中★満員)》

★ナイス・ケア

★ナイス・デイ (定員 10名)

月	火	水	木	金	土
6	5	6	5	5	6

★ナイス・ホーム (定員 21名、現在登録者 15名)

★愛宕の家 (定員 17名中入居者 10名)

★つしま紹介所 (有料職業紹介)

★ナイス・キッズ (学童保育・託児)

《12月行事予定》

- 8日 クリスマス会 & 誕生日会
- 10日 外食DAY
- 20日 避難訓練
- 30日 もちつき

下旬ごろ

祖父江銀杏まつり

《不定期行事》

天気や意欲等で状況判断し、外出先一覧を参考に社会生活に参加します。

《教室案内》

・和太鼓 月曜日(年間 35回)

場所：愛西市川淵コミュニティ

・コーラス 水曜日(月 2回)

場所：喫茶てのひら

※職員やキッズ達の趣味活動を兼ねて各教室を発足。地域の方々にも参加していただけます。

各教室月謝制で、定員あり。詳細はお問い合わせ下さい。

“介護職員”募集！！

夜勤が出来る方を大募集！！介護業務に興味のある方・仕事をある時間がある方！！是非、一緒に介護職として働きませんか。身近に仕事を探している方や転職を迷っている方をご存知の方、『募集しているところがあるよ！』と声を掛けてみてください。どんな様子か知りたい方は事前見学OKです。又は“サポート・ワン・サービス”とネットで検索してください。毎月更新しているホームページで日々の様子を知っていただくことが出来ます。詳細は気軽にお問い合わせください。

TEL 0567-26-3921 (担当：飯尾、田口)

握手♪/ナイス・キッズ

毎日、ナイス・ホームのフロアで過ごす子ども達、和室の一角を自分達の基地とばかりに、外へ遊びに行っても必ず基地へ戻る。そんな基地の前のソファでいつも門番さんのごとく座ってみえるおじいちゃん♪子ども達が基地に戻る度に手を広げられ、子ども達もそれに応える。

夕方になり、保護者の迎えが来ると、子ども達の帰宅時間。ある女の子、お母さんが迎えに来ると、ランドセルを背負い身支度を整えた。玄関へ向かったかと思えば突然くるっと向きを変えホームフロアへ逆戻り。「おじいちゃんに握手するの忘れちゃった～♪」と照れ笑いをしながらおじいちゃんと握手を交わし帰宅する。

毎日、数時間の関わりの中でのスタッフが間に入るわけでもなく築き上げられる関係。本来そこに存在しないかもしれない関係。おじいちゃんの笑顔と女の子の照れ笑い。暗くなってきた夕暮れに毎日繰り広げられている光景にホッカリとしてしまいます♪(R・W)



秋から冬へ
利用者さんと共に季節の移り変わりを感じます。

その時を共に迎える.../愛宕の家・ナイス・デイ

介護に携わる中で、これほど自然だと思える形での人の最期を見守らせていただいたことは初めてかもしれません。

Bさんは、愛宕の家に入居をされ訪問介護とデイサービスを定期的にご利用してみえました。とても行動的な方で、他の方がやっていることは出来ても出来なくても、何にでも興味をもたれ、積極的に参加してみえました。そんな活発なBさんが亡くなる2ヶ月くらい前から、いつも食事はきれいに残さず食べられていたのが、少しずつ残されるようになり、車いすですべて自由に動いていたのに同じ場所から動かなくなり、大好きだったタオルたたみや広告たたみもされなくなって見えました。元気な時は1日に何度も、『寝かせて』『起こして』を繰り返してみえたのに起こしてと言われません。「ご飯は？もう食べないの？」の問いに、ジェスチャーで、「ありがとう、もう食べられない」と訴えられ、声も細くなりました。そして、亡くなる1週間前くらいから、命の灯火が消えかかり、『もう、その日は近いのかな・・』と、ご家族も職員も、皆が感じていました。そして、ご家族に見守られながら、とても穏やかにその日を迎えられました。93歳の生涯、失礼かもしれませんが、すばらしい生涯の終え方に感動させられました。ご冥福をお祈りいたします。(M・O)

天王川公園へお出かけ



《編集後記》

先月23日、情報公表調査がありました。計画書や他職種との連携、地域との関わりなど、実際に携わっている事柄を意味のある記録、書類に残すことの大切さがやっと(笑)腑に落ちました。今年もあと少し。意味のある書類を作り上げます！(Y・O)

泊まり利用から自宅へ/ナイス・ホーム

今まで、訪問介護のみを利用してみえたCさん。転倒をきっかけに、トイレやお風呂、歩く事も一人では大変になってしまいました。そこで、急遽ナイス・ホームのお泊まりを利用するのはどうかと提案。登録利用開始のきっかけになりました。1週間を目安にお泊まりを連続で利用してもらい、体調の回復を待ちました。一週間が経ち、体調も回復し、在宅生活再開。担当ケアマネや訪問介護のスタッフから訪問内容や関わりについて引き継ぎを受け、訪問と通いを中心とした利用がスタート。「〇〇がして欲しい時はここに置いてある」「ここまで手伝え後は自分で出来る」など、訪問介護ではご本人の“声にならない声”をきちんとキャッチして対応に繋げていた様子。これから、関係づくりを深め、“声にならない声”をしっかりキャッチできる術を身につけ、これから先、起こりうるであろう身心の変化に、通い・訪問・泊まりのサービスを臨機応変に組み合わせ、少しでも長く在宅生活が続けられるように関わっていきたい。(Y・O)

人との出会いから学ぶこと/S・O・S

愛宕の家ではそれぞれの入居者さんに他事業所のケアマネージャーさん、それぞれに必要な事業所の方々に関わっています。福祉用具の方、訪問マッサージや鍼灸師さん、医師や訪問歯科医、訪問看護師、薬剤師等が入りされます。ナイスケア(訪問介護)やナイスデイ(通所介護)でも色々な利用者さんやご家族、事業所の方々と出会います。その出会いが貴重なものであることは今までも経験してきました。特にここ数年、本当に色々な利用者さんや入居者さんとそのご家族に出会い、色々な事業所、職種の方と協力しながら介護に携わっていることを感じています。それは在宅での生活を支える人手不足から複数の事業所での関わりが必要になったのか、それとも医療依存度の高い人の在宅生活を支える必要が出てきて多種職連携が必然となったのか定かではありません。そんな中、人との出会いや関わりから学ぶことが大きいことを身に染み込ませた年でした。そして人それぞれの生きる力や想いを感じながら、人として、そこに携わることの意味や役割を問われ続けた年だったように思います。

未熟な自分を自覚し、そしてこれからも未熟であることを自覚しながら、その中で経験させてもらったことを一つずつ振り返り、今後のサポート・ワン・サービスの力に変えていけたらと思っています。この一年、本当にありがとうございました。統括管理者として心より感謝致します。(M・T)

介護プロフェッショナルキャリア段位制度進行状況

- 《段位取得者》 1～6期生 (11名)
- 《申請中》 7期生 (1名)
- 《評価中》 8・9期生 (2名)

SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。

12月の発送部数110部